

教科	理科	学年	2学年
----	----	----	-----

教科書	啓林館「未来へひろがる サイエンス 2年」
補助教材	明治図書「よくわかる理科の学習2年」 東京法令出版「理科資料」

年間指導目標	
自然の事物・現象に進んでかかわり、これらの理解を深めるとともに科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。	

学期	単元	内容	目標・留意点
1 学期	化学変化と原子・分子	1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	身のまわりの物質を分解する実験などを行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いださせたり、物質は原子や分子からできていることを認識させたりする。
	生物の体のつくりと はたらき	1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだして理解したりする。
2 学期	地球の大気と 天気の変化	1章 地球をとり巻く大気のように 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解したり、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識したりする。
	電流とその利用	1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いださせるとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得したりする。
3 学期			

主な 評価方法	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・原則などを理解しているかを <u>定期テスト</u> を中心に評価する。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を <u>パフォーマンステスト</u> や <u>レポート</u> などで評価する。
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行っているか、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的な探究しているかを、 <u>ワークシート</u> などで評価する。
	主体的に学習に 取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、 <u>レポート</u> や <u>ワークシート</u> 、 <u>ポートフォリオ</u> などで評価する。
担当教諭からのアドバイス等		「主体的に学習に取り組む態度」の評価には、「自己調整する（自分の学習状態を自己診断する）」などの側面があります。例えば、授業の最後に自己評価を書く際、自分の言葉で、何が分かって、何が分からなかったのか、自分がどう変容したかを自分なりに内省して記述することが大切です。